

マレーシアに対する第8回省エネ研修（BECMY8 Part 1）（オンライン）を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて令和3年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地への派遣や日本での研修受入の実施が困難な状況であることから、11月と12月の2度にわたってオンライン研修を行うことになりました。そこでPart 1として、11月24日と25日の2日間、省エネ実技機材を用いた研修を政府関連機関、産業・協会、大学関係者36名を対象にオンラインで実施しました。



SEDA Director Lojuntin氏の開講挨拶



燃焼炉の火炎観察（日鉄テクノロジー(株)）



Steam Trap研修設備の紹介（TLV(株)）



参加者集合写真

1. 研修参加者：

- (1) マレーシア：持続可能エネルギー開発機構（SEDA）1名、エネルギー委員会（EC）2名、他政府関係機関：12名、産業/協会：8名、大学関係者：13名、合計36名が参加しました。
- (2) 日本側：ECCJ 国際協力本部 7名、日鉄テクノロジー(株)；4名、TLV(株)：2名

2. 研修概要：

- (1) 目的：マレーシアで新たに制度化される「Type 2 エネルギー管理士制度」での熱技術・設備分野の研修講師等を中心とした人材育成を行う一環で、省エネ実技研修及びその設備に関する内容を教授しました。
- (2) 講義項目：ECCJと実習講座を展開している2社の協力により、以下の省エネ研修設備に関し2日間、各日4時間、オンラインでのライブ講義・実技演習をしました。
 - ① 熱研修設備：Open Burner、燃焼炉、Steam Trap（日鉄テクノロジー(株)、TLV(株)）
 - ② 電気研修設備：Pump, Fan, Compressor, 照明（日鉄テクノロジー(株)）
- (3) オンライン実技研修方法：2社の研修現場からのライブ中継で上記研修設備と計測器を稼働させながら講義を行いました。研修参加者からはチャットを通じて活発に質問が行われました。
- (4) 開講式・閉講式挨拶：SEDA DirectorのLojuntin氏とECCJ 常務の村上基房から挨拶をいただきました。
- (5) 評価：研修生へのアンケート結果では、オンラインでも省エネ実技研修の意義を共有でき、今後の活用・展開が期待されました。

3. 次回研修（Part 2）：本研修（Part 1）の参加者に対して、第2回の熱技術研修（Part 2）を2021年12月3日、10日、17日、24日に実施しました。

以上